



The Y's MEN's CLUB of もりおか



<VOL102.2016.6>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Wichian Boonmapajorn
アジア地域会長	Edward K.W.Ong
東日本区理事	渡辺 隆
北東部長	中川 典幸
もりおかクラブ会長	大関 靖二

「信念のあるミッション」
「愛をもって奉仕しよう」
「原点に立って、未来へステップ」
「今と原点を融合して未来へ」
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書4章7節

「あなたの神である主を試してはならない。」

会長	大関 靖二
副会長	井上 修三
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

平成28年7月例会のご案内
日時 平成28年7月9日(第2土曜日) 18時30分
場所 きのえね 会費2,000円
卓話 重石桂司様
第二例会 平成28年7月15日(第3金曜日) 18時30分
場所 そばDe10割

大関会長巻頭挨拶



大関会長

2015~2016年度も最終月となりました。2015年7月に会長方針としていくつか掲げてきましたが、私の力不足で全てが中途半端な状態で申し訳なく思っています。特に宮古に新クラブを設立するという方針は、これといった具体策も出せずに終わってしまいました。具体的な戦略を練って会員全員が同じ方向を向いて進めなければなりません。但し、宮古市の景気の低迷、盛岡YMCAの宮古での活動が残り1年となっており、ここで一度白紙に戻して再検討をする必要があるのではないのでしょうか。まずは、足元を固めて、もりおかクラブの会員増強、クラブとしての活動内容の充実を図るのが先決だと思いますがいかがでしょうか。

会員増強については、中原先生に入会してもらいましたが目標の15名には到達できませんでした。これについてはゲストの方をお招きし、卓話をして頂きながらクラブになじんでもらい入会をお誘いするという活動が不足しており反省しています。

YMCAの支援と関与について、まずは会員全員が維持会員になっていただきました。これから盛岡YMCAの諸処の活動の支援をしていきましょう。

クラブの健全経営という点では厳しい状況から脱していません。ここを充実させませんとクラブの維持が難しくなり、YMCAの支援にも影響がでけますので、思い切った対策を考えないといけないと思っています。皆様の知恵をお貸しください。例会もマンネリ化しており、ただ集まってお話しするという内向きな例会になっています。例えば、震災以前、盛岡YMCAが実施していた日本在住の海外の方による自分の国の伝統芸能を披露する会を復活させるとか、盛岡YMCAリーダー出身の方が運営する施設の応援とか、もう少し外に出ての活動を探し出し形のある物を考えていきましょう。

しかし、もりおかクラブの結束は固く、人間関係は非常にうまくいっていると思います。来年度は、長岡メンが北東部長となり北東部全体をリードして行かなければなりません。北東部も色々な問題を抱えていますので、もりおかクラブ全員で長岡部長をサポートして、さすがもりおかクラブと言わしめましょう。

9月には、10周年記念例会を計画しています。必要な方々に

は5月中に全て案内を送付しています。長野で行われた東日本大会に参加した時に「10周年記念例会には必ず出席するので。」と激励をもらい手ごたえを感じています。7月中には記念誌も含めて段取りを終わらせたいと思っています。担当になっている方で困っていることがあれば相談してください。問題は早めに

6月第一例会のご報告

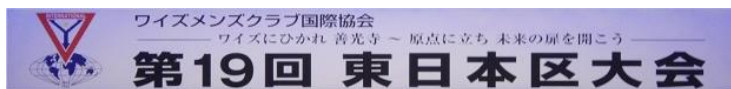
平成28年6月11日、きのえね本店にて、第一例会を行いました。大関、山口、長岡、井上、井上優子、古澤、濱塚、三田、小川（敬称を省略）ゲストは、武田 悠さん（ゴリナ）1名のゲストをお迎えしての例会になりました。

6月、今年度最後の例会になりました。大関会長2回目の会長職も今月で終わりですね、会長挨拶も少し寂しげな内容でした。もう一年やってもいいんじゃない。という問いかけにもあとは任せたとの返答でした。山口メンがいました「50代のメンバーがしっかりしないと実際、第二世代なのでから」まったくその通り、もりおかクラブ50歳代、頑張ろうぜ。とはいっても、次年度は70歳の井上会長の登板です。再来年からかな。

大関会長による東日本区大会の報告は大関会長らしい、きめ細かい報告でした。私が同じことをしたら、約2分で報告終わりって事になりそうですが、さすが大関さん主催者に敬意をはらいな

第19回東日本区大会に参加

もりおかクラブ会長 大関靖二



6月4日、5日の二日間長野市で行われた第19回東日本区大会に参加してきました。参加者は井上メン、長岡メン、古澤メン、井上優子メネット、そして大関の5名でした。4日の午前0時に長岡メンの車にて出発し7時間半かけて長野市に到着しました。運転してくれた長岡、古澤、両メンに感謝です。会場である若里市民文化ホール到着後、大関は代議員会に、井上メネットはメネットアワーに出席、井上メン達は早速盛岡より持参したわかしお石鯰、かもめの玉子を販売ブースに並べ、販売開始です。2日間の最終売り上げは77,000円でした。本当にご苦労さまでした。

12時30分よりオープニングセレモニーの開始です。長野少女合唱団による歓迎の歌から始まり、一番の見せ場のバナーセレモニーです。狭い場所に全員で並んだため、見えないバナーもあったりしてちょっと残念なセレモニーでした。



12時40分より、渡辺理事による開会宣言、開会点鐘で始まり開会祈祷、そして来賓の祝辞が長野市の樋口副市長、島田日本YMCA同盟総主事、アジア地域会長、遠藤西日本区理事からありました。メモリアルアワーでは今年は13名の方がお亡くなりになったとの紹介がありました。

14時から東日本区アワー I の始まりです。理事挨拶、理事報

解決しましょう。次年度は、井上メンが二度目の会長になられます。（チャーターから数えると3回目ですね）その豊富な経験と大いなる人脈を生かしていただきもりおかクラブ10年以降の道筋を示してもらいましょう。最後に、この一年皆様のご協力ありがとうございました。

から、おもしろ楽しい大会報告でした。新年度の大まかな行事予定を再確認しながら、来年度は卓話の充実、会員勧誘への働きかけ、CSの具体策の策定などをスローガンに決めました。井上会長、よろしくお願いたします。



大関会長ご苦労様でした、今後もよろしくお願いたします。

告、年次代議委員の報告と続き、各部長、メネット委員長報告がありました。各報告はいつもただ長いだけで退屈していましたが今年は報告のテンポがよく、途中笑いも入って時間通りに進行しとても良い報告だったと思います。その後、西日本区次期理事の岩本さんより熊本地震の報告がありました。被害状況の報告と、熊本YMCAの活躍が紹介され大変ご苦労されている事がよく解りました。地震が早く終結することを祈るばかりです。全国のワイズメンが協力して支援していきましょう。

16時から「天台声明」（しょうめい）の紹介がありました。善光寺天台声明研究会の僧侶10名の方達が独特の節回しで歌っているのですが、実に澄んだ良いお声でした。内容は、1、散華の歌。2、礼拝の歌。3、諸々の天の仏を讃える歌だそうです。心とむ声明でした。次に善光寺詣り、総解き口演があり、長野郷土史研究会の小林親子（母と息子）が紹介してくれました。善光寺の総巻図の中に色々な人物、建物が描かれていますが、そのすべてに物語があるとの事でした。なんとその数100話以上あるとの事で、その中の「ろっぽ」というお話をしてくれましたが、なるほどと思うものばかりでした。おもしろいですね。

17時から吹奏楽団「夢」によるバンド演奏です。楽団員のモットーは、うまくならない、うまくならないとの事でメンバーは10代～80代と幅広く全員で85名いるとの事でした。指揮者の深澤先生の巧みな話術での紹介があり全員で夢メドレー14曲を歌いました。最後に「ふるさと」を歌いましたが、なぜか最近この歌を歌うと泣けてしまい困っています。

19時から場所をホテルメルパルクNAGANOに移動し最大の楽しみ晩餐会です。オープニングは善光寺木遣りで始まり、大会実行委員長の森本さんからお礼のあいさつがありました。クラブ会員12名の小さいクラブですが、他クラブの応援もあり無

事開催できたのは本当に嬉しいとの感激していました。参加者は411名。3年前の花巻での大会を思い出しこちらも感激していました。食前感謝は「仏教の食事作法」を全員で朗読しま



楽しさの切り取り、井上ご夫妻と同席の皆様

といただきました。来年の東日本区大会は埼玉の川越クラブが中心となり行われるとの事です、今から楽しみです。もちろんフェローシップアワーも元気いっぱい楽しく参加してきました。

6月5日、6時からの早朝散歩は善光寺のお朝事見学でしたが残念ながら目が覚めず不参加となりました。ちなみに井上ご夫妻は参加したとの事です。

9時30分、東日本区アワーⅡの始まりです。各事業主任の報告と各事業の表彰式が行われました。これがまた時間がかかること！予定時間をはるかにオーバーでした。表彰式では「伊東クラブ」の活躍が大変目立ちました。理事表彰での最優秀クラブは主催した「長野クラブ」かと思っておりましたが、なんと伊東クラブ

が受賞しました。伊東クラブの会長もこれには大変感動しておりました。我が「もりおかクラブ」は各事業のすべてに献金しておりましたので、各事業から表彰状を頂き、グランドスラム賞を受賞しました。ユース事業のYIA努力賞は、「もりおかクラブ、他3クラブ」が受賞しましたが残念ながら登壇することはできませんでした。理事引継ぎ式、役員バッチ引継ぎ式では長岡次期北東部長も壇上に上がり無事役員バッチを引継ぎました。がんばりましょう。最後に、利根川次期理事より所信表明があり、主題は「明日に向かって今日動こう」にするとの力強い表明がありました。閉会式は約30分遅れで始まり、大会旗の引継ぎ等があり、閉会点鐘で第19回東日本区大会が無事終了しました。この後、我々は善光寺をお参りし帰盛につきました。出席者の皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



善光寺にお参りました。初めてでした、古澤さん感激！

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

6月の出席率	8/12	66 %	ゲスト1名	ビジター0名					
メーキャップ	0	名		6月切手	35 g	累計	375 g		
6月のにこにこ	8,000	円	累計	盛岡 YMCA	へ	6月プルタブ	130 g	累計	4,280 g
6月 石鯿	8,216	円	累計	7,179	円	りんご	円	累計	円
6月震災募金	0	円	累計	0	円	ファンド合計	30,871	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

6月のハッピーバースディ 古澤 久美メネット 6/9 誕生日おめでとうございます。

第19回西日本区大会に行って来ました

井上 修三

平成28年6月25日(土)26日(日)大阪で開催された上記大会に参加してきました。

JR で盛岡発6:10分。開会ぎりぎり13:00会場大阪城近くの松下IMPホール到着。ギャベルを持った真っ赤なブレザーの西日本区遠藤理事を先頭に会の幕開け。久しぶりの

荘厳な開会式。それにしてもよく似合っていました。遠藤メン、メネットの赤いブレザー、大阪西クラブ畠平雅生メンが奈良傳賞を受賞されました。ワイズきってのアイデアマン労を惜しまないご奉仕への当然のご褒美。(しかし真似をしようととても簡単にはできそうもありません。)笑顔を絶やさな



井上次期会長

やさしい物腰のなかに常に前進の精神、そして実行力。宮古をはじめ東北へも何度足を運んでいただいたことか。改めて心から感謝を捧げます。



清水メンです。

また、特別企画「東日本大震災をあらためて考える」では、東日本区北東部石巻広域クラブ清水メン、熊本ジェーンズクラブ立野泰博メンが発題者となり、参加者の涙を改めて誘いました。私はといえば西日本区のみなさんにお礼の気持ちを表すにはと必死に考え、オリジナルTシャツを着用し、ささやかなお礼といたしました。

なんとサプライズが！西日本区より盛岡YMCAに70万円という支援金をいただいたのです。「10年は支援を続行します。」と言い切った濱塚総主事の顔が浮かびました。

DBC芦屋クラブ、岩国みなみクラブのみなさん、宮古支援を継続している大阪西宮クラブのみなさん、神戸ポートクラブの大野ご夫妻、小田メンといつの間にか友好を深めるお仲間も増え1日では時間が足りないような感じさえたものです。

それにしても多彩なプログラムを難なくこなす手際よさに改めて感心をいたしました。貴重な忙中閑のひとつでした。



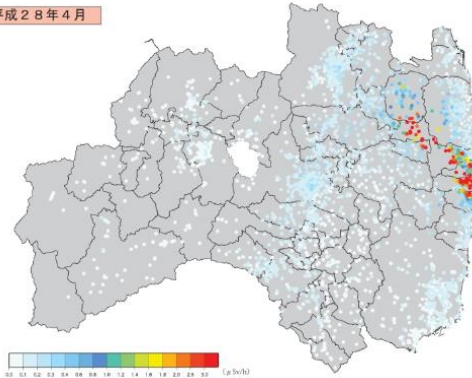
「おいでなさいませ」と高瀬さん、ありがとうございました。



福島を応援しましょう。

東京電力福島第一原発の事故から5年3か月。立ち入り禁止地域はすこしずつ狭くなってきていますが、肝心の発電所の処理が遅々として進んでいません。人類が原子力を利用し始めてわずか70年。それは原子爆弾に始まり、主に軍事用の船舶に利用され、日本の原子力船は放射能漏れ事故のあとそのまま廃船、そして世界中に発電所の乱立。過去にはスリーマイル、チェルノブイリと発電所の事故がありましたが、福島第一発電所の事故は人類が経験したことがない大規模な事故です。津波による電力の喪失は発電所を制御するすべを失い、炉心はメルトダウン。水素爆発による放射能の拡散、そしてだれも住めなくなった。この間の東京電力の対応で、現場の技術者たちの努力にくらべ、後方の背広組に怒り

平成28年4月



を感じています。原子力は使わなくても問題ありません。福島の事故後、全国の原子力発電所はすべて停止しました。でも電力は無くならなかったのです。原子力発電所がなくて、電力が不足して不便な生活や、経済活動に支障をきたしてもそれを受け入れる覚悟が必要です。きっと日本人はあらたな技術を開発して電力を作り出してくれます。いま進んでいる原子力発電所の再稼働は、新発電技術開発の足をひっぱっているような気がします。

どんなに東京電力に腹をたてても放射能はなくなりません。でも、広島や長崎のようにいつか福島も人が暮らしていけるようになると信じています。

みなさん今、福島を応援していきましょう。福島復興なくして東日本大震災からの復興はありえません。福島のことを忘れないでください。

いつもと違う盛岡の緑、どうしたのだろう？

雪が解けて、花が咲き、緑の葉が生い茂り、またたびの葉が白くなり梅雨の季節を迎え、紫陽花がきれいに咲き誇り、初夏の木の實を小鳥たちがついばむ。繰り返される一年の中で、気持ちが萎えてしまうような事態が起きています。天然記念物の肴町の「しだれかつら」、枯れてしまったような、いや枝は枯れている。盛り上がるように、滝のように、舞子さんのかんざしのように、大好きな「しだれかつら」に、いったい何がおきたのだろう。

盛岡市の教育委員会に確認したところ、なぜか今年は樹勢が落ちているとの事、樹木医の診断を仰ぎ対処していくとの回答でした。すぐに対応してください。よろしく願いいたします。

さらに我が家の大きな栗の木、去年のいまごろ毛虫には葉を食われて、そのまま枝のほとんどが死んでしまったようです。一年経てば復活すると思っていましたが、死んだ枝はもう終わり

のようです。太い幹から新しい枝が出てきていますので、数年の後にはまたおいしい栗の実を落としてくれることを期待します。



2016年6月



2011年5月

ご覧ください、こんなに葉の量が違います。大関さんの髪の毛のようです。おっと逆襲されそうです。

編集後記

今は、6月29日午後7時50分、やっと編集が終わりに来ました。久々に苦しい発行になりました。今月は22日から25日まで社員旅行があり、北海道根室、礼文島、利尻島に行ってきました。その間パソコンに向かえなかったのが敗因です。

礼文島には「れぶんうすゆきそう」という高山植物があり、早池峰山の「はやちねうすゆきそう」ととてもよく似た花があると聞き、ぜひ見たいと思ったのですが、山奥までいかないと見られないということで断念したのです。が、なんと根室市内の展望台の花

壇にあるではありませんか！ 写真をとってきましたのでどうぞご覧ください。

長岡



れぶんうすゆきそう



はやちねうすゆきそう